

**金曜コラム - 2019. 8. 2**

本日の金曜コラムは筆者の都合で一週間お休みです。ご了解いただければ幸いです。

**01 連合ニュース 2019. 7. 27****【 世界はなぜ黒人水泳チャンピオンに熱狂するか 】**

昨年 8 月に米国サウスカロライナ州サマーミルのプールで理解するのが難しいことが起こりました。38 歳の白人女性ステファニー・セビ・ストレムボルさんは水泳を楽しんでいた 15 歳の黒人の若者を呼んでプールから出て行けと要求しました。そのプールは住民のための空間だというのが理由でした。黒人の若者は友人からの招待を受けたと抗弁しましたが無駄でした。

黒人の若者は荷物をまとめて過去の黒人奴隷の口調で「はい奥様」と皮肉ったところ、激怒した白人女性はこの若者を無差別的に暴行して警察に逮捕されました。この事件はアメリカ社会を騒然とさせました。ニューヨークタイムズは、この事件について「米国のプールは人種差別の長い歴史を持っており、その葛藤が表出されたもの」と説明しました。20 世紀半ばまで米国で白人と黒人が一緒に泳いでいる姿は見当たりませんでした。黒人と同じ水に身を浸すことを受け入れることができないというのが保守的な白人社会の認識でした。世の中が変化して人種差別法が強化され、黒人が存分にプールに出入りすることができる環境が造成されましたが、社会的な認識は相変わらずでした。黒人は白人よりも水泳する機会が多くありませんでした。水泳ができないということは、スポーツを楽しめないという以上の大きな問題でした。水泳は生存の問題でした。

2010 年に米国レイジアナ州では、6 人の黒人の若者が川に落ちた友達を救うために入ったが、みんな水に溺れて死亡することが発生しました。当時溺死した 6 人の若者の中で泳げる人は一人もいませんでした。水泳ができない黒人が溺れる事件は後を絶たず、続きました。去る 6 月、米国シンシナティドットコムの「黒人の子供たちの致命的な溺死率」というコラムによると、米国内の 5 歳から 14 歳の間のアフリカ系アメリカ人の子供たちの溺死率は、同じ年齢の白人の子供たちの 3 倍に達しました。

26 日 2019 国際水泳連盟 (FINA) 光州世界水泳選手権大会で金メダルを首にかけ、米国代表シモーン・マニュエル (23) の笑いは、従ってより意味があります。マニュエルは 2016 年リオデジャネイロ五輪で黒人女性選手としては初めて水泳で金メダルを獲得しました。

そして、今回の大会では閉会を二日残して女性自由形 100m 決勝で 52 秒 04 の記録で優勝し、競泳種目初の黒人金メダリストになりました。黒人選手が世界水泳選手権大会 2 連覇に成功したのは初めてです。マニュエルはリオ・オリンピック当時、「この金は単に個人のためのものではない。大きな意味を持つ。」と涙を流して大きな反響を残しました。今回の大会では涙を流しませんでした。明るい笑顔で光の村に集まった多くの人々に感動を与えました。

\*原文出所 : <https://www.yna.co.kr/view/AKR20190727026800007?input=1195m>

## 02 スポーツ京郷 2019. 7. 29

### 【 松島サッカークラブ車両事故対策、省庁間転嫁式・急場しのぎ式はダメ 】

去る5月15日、仁川松島で交通事故が起きました。スターレックス（訳注：現代自動車のキャンピングカー）が黄信号で交差点に入ったのが原因でした。スターレックスは隣の車道から走ってきたカーニバル（訳注：ギア自動車のリムジン車）に側面を追突されました。スターレックスに乗っていた小学生2人が死亡し、6人が負傷しました。スターレックスの24歳運転者は拘束起訴されました。彼は制限速度時速30kmである道路で85kmというスピード超過もしました。スターレックスは民間サッカークラブの小学生6人が乗っていました。スターレックスは子供の通学車「黄色いバス」でした。ところが子供用シートベルト着用、同乗者追加搭乗など完全には守られていませんでした。

この事故を契機に民間スポーツクラブの子供通学バスを徹底的に管理するための法律が作られています。去る7日、国会でも関連討論会が開かれました。子供の安全は非常に重要な課題の一つです。だからどのように管理・監督をするかが非常に重要です。ところが、現在の法案を用意する過程が省庁間転嫁式・急場しのぎの処方です。ある時は世論に押されて、まるで爆弾たらい回し式で法案が用意されているようで苦々しいです。

関連法案の制定を推進するのは文化体育観光部です。文体部は「体育教習業」という概念を新たに作成し、現在の「体育施設の設置利用に関する法律（体施設）」に入れようとしています。しかし、これは望ましくありません。体施設はプール、サッカー場などのスポーツ施設をベースにします。テコンドー道場業が体施設に入ったのも道場があるからです。ところが体育教習者はほとんど公共または民間スポーツ施設を賃貸して使っています。これらのプール、スキー場、サッカー場、体育館を直接保有することは非常に大変です。これらを体施設に含ませると細部の規定作りから非常に中途半端です。今後、事故発生時の責任所在など、様々な議論も浮上します。法の死角地帯があちこちで起こるに決まっています。

これらを学院法で管理するのが望ましいです。学院法は文部科学省傘下法です。学院法には予備校だけでなく音楽・美術学院も含まれています。学院法に従う必要がある学院は義務的に風俗店から一定の距離にあります。講師も徹底的に管理されなければなりません。子供の保護用「黄色いバス」の運行も義務です。また、付加価値税免除も与えられます。体育も音楽、美術のように厳然とした教育科目です。子供体育教習業者を学院法に含ませて、事業場の場所、講師資格などを徹底的に管理しながら通学車両を道路交通法上の黄色いバスとして義務的に変えればすべてが解決されます。

「体育の事だから文体部がしなければならない」というように単純に考えて一つの省庁に押し付けた場合、根本的な解決策を見つけることができません。

長期的に見れば二つの解決策があります。一つは「体育教習業に関する法律」を別に作ることです。子供体育指導者など現在の民間スポーツクラブ業者は、「体育教習業」という具体的な概念がなく、ただ「自由業」に区分されています。こんな所が1万箇所を遥かに超えています。種目もとても多様化して数も増加傾向です。「体育教習業」という具体的な業態を作った後、これを管理する法律を別に作成すれば、最も確実な解決策になるでしょう。別途、法律を新たに制定することは、既存の法律を修正・補完することと比較できないほど複雑で難解です。それでも必要ならしなければなりません。このようなことをするために、私たちが国会議員を選び、税金で公務員に給料を出しているのですから。

第二の方法は現在、立法が推進されている「スポーツクラブ育成法」に「体育教習業」を含ませることで

す。スポーツクラブの育成はムン・ジェイン政府が宣言した体育関連重点事業の一つです。誰でも簡単にスポーツに接することができるようにし、ゆりかごから墓場まで生涯スポーツが可能な環境を造成するという意図です。ところが、スポーツクラブ育成法は公共のスポーツクラブのみ含まれています。国民がスポーツを楽しむ世界を作成するには、民間のスポーツクラブも入れなければなりません。

民間スポーツクラブは、これまでも指導層があまり注目をしない幼児・小学生スポーツの活性化のために、それなりに貢献してきた所です。000子供サッカークラブ、000幼児スポーツ教室などがそのような所です。そのようなところをスポーツクラブ育成法に含ませて管理してこそ、全年齢にわたったライフサイクル別のスポーツが可能となります。現在の法体系に曖昧に民間スポーツクラブを押し込んではいけません。民間スポーツクラブをスポーツクラブ育成法で排除してもいけません。公共スポーツクラブのみ育成するという態度は全てを国家主導で行うだけで、スポーツ産業市場は眼中にないという意味と同じです。

今でもこの問題を政府レベル的、法省庁的に扱わなければなりません。子供たちの安全を最優先的に確保しながら、民間と公共のスポーツクラブを一緒に活性化してライフサイクルごとのスポーツを可能にする真の解決策が何なのか、最初からもう一度考える必要があります。省庁横断的な統合的管理と振興策が必要です。一つの省庁の規制中心の対策では、生涯スポーツは決して行われません。

\*原文出所：

[http://sports.khan.co.kr/sports/sk\\_index.html?art\\_id=201907291323003&sec\\_id=530101&pt=nv](http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=201907291323003&sec_id=530101&pt=nv)

### 03 中央日報 2019. 7. 31

#### 【 ひき逃げ前科でも... 太極マークつけメダル取った卓球選手 】

無免許ひき逃げ事故で実刑を受けた男子卓球選手が執行猶予期間に代表として国際大会に出場してメダルを獲得したことが確認されました。大韓卓球協会はその選手に対する調査に着手し、再発防止策作りに乗り出しました。

31日聯合ニュースによると、大韓卓球協会はA選手が過去に無免許ひき逃げ事故で実刑を受けた事実を確認し、この選手の国家代表常備軍の資格を最近停止しました。大韓卓球協会の関係者はこの日、「来週中にスポーツ公正委員会（旧賞罰委員会）を開いて（A選手の）追加懲戒部分を議論する」と明らかにしました。

A選手の犯罪事実を認知できないでいた大韓卓球協会は、ある放送局が取材に入ったことでそれを知りました。

A選手は2013年7月、京畿道城南市盆唐区の道路を無免許状態で運転していて、車に追突して逃走し裁判所で懲役6ヶ月執行猶予1年を宣告されました。当時A選手が起こした事故で搭乗者2人が負傷したと伝えられました。

A選手は事故翌年の2014年、仁川アジア大会代表に国家代表として参加し、団体戦銀メダルなどメダルを首にかけました。また、今年の国家代表選抜戦では常備軍に選ばれました。現行の卓球協会の規定上、禁錮以上の刑を受けた選手は5年以内に代表に選ばれません。これに対して大韓卓球協会の関係者は、JTBC（訳注：中央日報系のテレビ局）に「全く認知できなかった」とし「指導者は犯罪事実の証明書を

出す規定があるが、選手は関連根拠がない」と釈明しました。

これとは別に大韓卓球協会は、A 選手の過去の代表選考過程で後ろ盾式の勝負八百長があったとの内部証言が出たことに応じて、この部分についての調査もする方針です。

\*原文出所 : <https://news.joins.com/article/23541010>

## INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net)

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)